

## 審議会等の会議結果報告

1. 会議名	令和4年度第2回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会
2. 開催日時	令和5年1月30日（月） 午後1時30分～午後3時
3. 開催場所	松阪市健康センターはるる3階 健康増進室
4. 出席者氏名	委員：◎長井雅彦、○萬濃正通、津田真、杉山拓紀、西村充功、 藤本泰史、小山恭子、鈴木寛子、馬場啓子、西村知晃、 桑山真理子、田中弘子、阪井直子、池田凡美、廣本知律 （◎会長、○副会長） アドバイザー：奥野ゆたか 事務局：金谷、坂口、竹内、大野、鈴木、中西、山村、森川、 糸川、森本、西口、白木、大西、橋本、清水、梶間、 後藤
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	2名
7. 担当	松阪市健康福祉部健康づくり課 TFL 0598-20-8087 FAX 0598-26-0201 e-mail ken.div@city.matsusaka.mie.jp

### 事項

#### 1. あいさつ

#### 2. 協議事項

- (1) 令和4年度フッ化物洗口事業実施状況について
- (2) 令和5年度歯科保健事業計画について
- (3) 松阪市健康づくり計画 健康づくりに関するアンケート調査より
- (4) 第2次歯と口腔の健康づくり基本計画策定に向けて

議事録 別紙

## 令和4年度第2回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会議事録

- 日 時: 令和5年1月30日(月) 13:30~15:00
- 場 所: 松阪市健康センターはるる3階 健康増進室
- 会議形態: 会場出席とオンライン出席の併用
- 出席者: 【委員】長井雅彦(会長)、萬濃正道(副会長)、津田真、杉山拓紀  
西村充功、藤本泰史、小山恭子、鈴木寛子、馬場啓子、西村知晃  
桑山真理子、田中弘子、阪井直子、池田凡美(オンライン)、  
廣本知律
- 【アドバイザー】奥野ゆたか(オンライン)
- 【事務局】
- (健康づくり課)  
糸川千久佐、森本亜由美、西口裕登、白木智子、大西郁子、  
橋本嘉寿子、清水尚美、梶間望、後藤優尚
- (学校教育課) 金谷勝弘、坂口陽一、竹内伸吾
- (こども未来課) 大野千賀子、鈴木智美、中西なつき
- (障がい福祉課) 山村千穂
- (高齢者支援課) 森川祐子

### 配布資料

- ・松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会事項書
- ・委員名簿
- ・令和4年度フッ化物洗口事業実施状況について
- ・令和5年度歯科保健事業計画
- ・令和5年度フッ化物洗口事業計画
- ・松阪市民の健康づくりに関するアンケート調査概要
- ・松阪市民の健康づくりに関するアンケート調査結果
- ・指標一覧
- ・第2次松阪市歯と口腔の健康づくり基本計画骨子案の概要について
- ・松阪市民の健康づくりに関するアンケート調査
- ・松阪市健康づくりアンケート(中学生用)

## 議事要旨

### 1、あいさつ（会長挨拶）

市民の健康のために、活発な意見をよろしくお願ひしたいと思ひます。お願ひします。

### 2、協議事項

#### （1）令和4年度フッ化物洗口事業実施状況について

事務局より説明

- ・令和4年度フッ化物洗口事業実施状況について
- ・令和4年度フッ化物洗口事業の変更点
- ・12月8日松阪地区歯科医師会が受けたフッ化物洗口事業先進地視察について報告

（会長）先進地視察に関しまして、委員から何かありましたら。

（委員）第一小学校の学校歯科医の担当ということで、私が講演させていただく機会がありました。少子高齢化の中で子どもたちをどのようにしっかりと育てていこうかということ、小学校の中ではフッ化物洗口は非常に有効ですということ、将来大人になってからも、続いていく健康づくり課題の中の一つという意味で、皆さんに研修参加をしていただいたつもりで講演をさせていただきました。フッ化物洗口を、官民そろってみんなで子どもたちの健康のために推進できることは非常にハッピーなことです。みんなが集って、子どもたちの未来、それから松阪市を担っていく子どもたちを立派な大人に育てようというようなことの意味で、講演をさせていただきました。以上でございます。

（会長）先進地ということ、今後も三重県の各地から視察にみえると思いますが、皆さん方のご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。

#### （2）令和5年度歯科保健事業計画について

事務局より説明

- ・令和5年度歯科保健事業計画
- ・令和5年度フッ化物洗口事業計画

（会長）ご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

（委員）地域で活動する宅老所や集いの場への専門的な指導ということがありますが子ども、最近ちょっと僕気になっていることが肺炎ですね。肺炎といっても、市中感

染の肺炎と、誤嚥性肺炎というのがあります。それを、割と肺炎ワクチン打ってるから、もう肺炎にはまずなりにくいよ、ならへんよってというような、感じで樂觀視されてる高齢者の方結構いるんですよ。実は市中感染を起こした肺炎と、誤嚥性肺炎と言われる肺炎は別物ではある。要するに起因菌というのが違ってくるんですよ。誤嚥性肺炎というのは、お口の中の衛生状態です。お口の中の細菌が寝てる間に気道を通して、感染を起こしてくるというような状況になりますので、嚥下反射ですね嚥下に関わる機能が低下するとそういうことが起こってきやすい。これが誤嚥性肺炎なんですよ。だからお口の中を綺麗にする。そして、嚥下機能を充実しっかり回復させるということが重要になってきておりますので、市中肺炎と誤嚥性肺炎の違いというのも、少し何かの集いのところではお話してあげていただきたいなと思いますのでよろしくお願いします。

**(委員)** 施設においても、肺炎ワクチンを打っていると誤嚥性肺炎も、絶対かからないというふうに思われてるところも多いので、その都度私らも説明をさせてもらってるんですけども、やはり皆さんがわかってないと、駄目というか誤嚥性肺炎は違うものなので、また、説明をお聞きになりたい方は、うちの方で説明させていただきますので、整理をお願いしたいと思います。

**(委員)** 資料2、の1ページ目、学齢期です。これと資料6によると、基準年に歯みがきに取り組んでいる学校が28校から22校に減っており、中学校は3校から2校に減っているということで、これ多分にコロナの影響もあるんだと思うんですが、この時期に整容行動をしっかりと身につけることによって、成人期からの歯周病もかなり防げます。小学校高学年それから中学校というのは、歯肉炎が非常に出る時期ですので、そこら辺に、歯磨き指導というものに焦点を当てて、コロナがゆっくりになりましたら、実施校36校に向けて、どんなような方法であるのかなということを考えていただきたいと思います。

つきましては同じく資料2の中の2番です。成人期妊娠期、歯周病検診は対象者の拡大ということも市として努力して、実施していただいているんだと思うんで、ここら辺のことが効いてくるのが小学校高学年から中学校のはみがき指導、その整容行動の習得ということだと思っています。それが、ずっと続いてくるんだと思いますので、そういう意味でどうぞよろしく。また、目標値に向かって学校歯科医の方とも相談して進めていっていただきたいというふうに、思うところです。以上です。

**(会長)** 協議事項の1と2フッ化物のことと、保健事業計画が終わったんですけども、県の方のご意見があれば、お聞かせ願いますでしょうか。

**(アドバイザー)** 先進地視察研修も先ほどご報告いただきましたけれども、県の事業として、初めて三重県内の小学校で実施させていただくことができまして、こち

らの会議にご出席いただいている皆様にご協力いただいていることを改めて感謝申し上げます。大変好評いただいております、来年度の先進地視察研修も、またぜひ松阪市さんの方でさせていただけたらと今思っているところです。フッ化物洗口の県内の状況としましては、コロナ禍であっても、以前から幼稚園保育所や小学校でも取り組んでおられるところは、継続的に、或いは断続的にしていただいているような状況がございまして、今年度、新たに鳥羽市さんと志摩市さんの小学校、全校で始めていただいているような状況です。実施状況としましては、全校ですべてしていただいているのかどうかわからないんですけども、今年度始めるということで、県の事業を活用していただいたり、或いは市単独で事業を展開されているというような状況であります。また昨年度はろう学校、今年度はいなば特別支援学校の方でも、フッ化物洗口も取り組むというようなことがございまして、フッ化物洗口の取組が広がってきてるなっていうような状況であります。国の方からフッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方の通知を発出しまして、これが昨年12月28日でしたけれども、それまでありました、平成15年のフッ化物洗口のガイドラインは、昨年通知の発出によって廃止されましたので、今後は新たな資料として基本的な考え方というものを参考にさせていただくとよろしいかなと思います。松阪市さんにおかれましては、取組みが今どんどん広がっている中ですので、これ参考にさせていただく程度でよろしいかと思っておりますけれども、パンデミックのことであつたりとか或いは洗口の紙コップでしたり配置の方法とかというようなことが新たに加えられたということと、いろんな先進地の事例も載っておりますので、こちらの方、参考にさせていただければと思っております。障がい児者の取組みの方でも大変感謝をしております、松阪市でその研修をしていただいたり取り組んでいただいていることを感謝したいと思います。松阪市では、地域口腔ケアステーションが定着しております、他の地域ですと高齢者の方を中心に見られているような状況なんですけれども、そうではなくておそらくすべての年代で見えていただいているっていうようなところがあるのかと思っております。歯科医師会さんと衛生士会さんと、市で協力していただいておりますので、どうか今後も引き続きいろんな世代の方に対して担っていただきたいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(会長) それでは、協議事項の3番、松阪市健康づくり計画。健康づくりに関するアンケート調査より、事務局からお願いします。

(3) 松阪市健康づくり計画 健康づくりに関するアンケート調査より  
事務局より説明

・松阪市民の健康づくりに関するアンケート調査概要

・松阪市民の健康づくりに関するアンケート調査結果

(会長) 松阪市民の方にうかがったこのアンケート調査の中から、歯科に関するものだけピックアップしていただいておりますが、これに関して質問なり、聞いてみたいこととかあれば、挙手をお願いします。

(委員) このアンケートの結果の中で、ちょっと気になったところが一つありまして、資料5の3ページのところで、歯周病検診で、受けてない理由のところなんです。費用がかかる経済的負担になると答えてる方が5.6%ですかね。内訳が、次のページ、年齢別のところで見ますと、費用がかかり経済的負担があると答えた方は、年齢別に見ていきますと、20代30代が特に高く、40代以降は%は低いですね。これ何でかなって考えたときに、公的な歯科健診を受けられるのは、中学校、高校までが公的な健診を受けられますし、歯周病検診、松阪市が行っているのも40歳以降では受けられるんですが、20代30代の方は公的によっていうと、妊婦健診がありますけど、それ以外の方では受ける機会がなくて、やっぱり一定数の方が受けたいと思っているけど受けられないと、このアンケートに答えていえるので、今後市でそういう人たちに対する対応を何か考えていただければと。

(事務局) 歯周病検診が全体に受診率が非常に低い状況でございますので、まずは今の受診率を上げる努力と、次年度におきましては、年齢拡大を考えてはおるものの、まだ20代30代まで広げるといふ考えが今のところございませんので、妊婦歯科健診と合わせて、40代以上の歯周病検診の受診率を上げるように努力して参りたいと思っております。

(会長) 順次拡大していただければなというふうに思います。

(アドバイザー) 検診の話をしていただきましたので、参考までに共有をさせていただきたいと思います。今後国の方で、国民皆歯科検診の実施方法、具体的にどのような形になるのか検討されていくこととなります。まだ具体的な内容というのは一切わからないんですけども、松阪さんにしていただいている事業を拡大していただくっていうの本当にありがたいお話ですけども、受診率を向上させるとお話ありましたので、確認しながら、どのような形で、行なうのかを皆さんで検討していただけるとよろしいかなと思います。私の方でも国の方で、どのような検討が行われてるか確認して、また市町さんの方に情報共有したいと思しますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(会長) 20ページの市の健診を知ってましたかっていうので、妊婦歯科健診が16.4%しか認知されてないですね。昔はこどもを妊娠するとこどもに栄養を取られて歯が悪くなるんやっていうの、まことしやかに、やってましたね。そんなことはないんでやっぱり妊娠すると、嘔吐しやすいんで歯みがきがおろそかになる。それによってやっぱり歯周病が進んでいくというね。これはもう明らかになってるん

で、できればやっぱり今若い方に、妊婦歯科健診を受けていただいて、その時からしっかりと歯周病のケアをしていただくと、将来、いい歯を育てられると思いますので、妊婦の方に指導させていただくとその妊婦の方は必ず自分のこどもさんをしっかりと見ます。できればその時代からしっかりとやっていただければなと思うので、この妊婦歯科健診の浸透をもう少し上げていただければなというふうに思います。よろしくをお願いします。それでは他ないようですので、協議事項の4番、第2次歯と口腔の健康づくり基本計画策定に向けて、事務局より説明をお願いします。

(4) 第2次歯と口腔の健康づくり基本計画策定に向けて

事務局より説明

・指標一覧

・第2次歯と口腔の健康づくり基本計画骨子案の概要について

(会長) 資料を見て、いろんな意見を言う流れが難しいってということなので、なかなか発言しにくいと思いますので、これに限らずも今日、みんなで議論していただいたことをすべて含ませていただいて、委員の先生方から1人ずつお話を聞かせていただければと思います。

(委員) 歯科医師の先生方が頑張っていて、松阪市も頑張っていて、とても細かく資料もわかりやすく作っていただいています。これだけ各年代にわたっていろいろ目標とか、考えていただいているようですので特に私からは何も申し上げることはないです。他の市町の方々の参考になるとと思います、ぜひ頑張っていたいただきたいなと思います。お疲れ様です。以上です。

(アドバイザー) 説明いただいた通り、来年度県の方でも、第2次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画を動かしているところでもありますけれども、国の基本的事項が策定されて示された後、県の方の計画の方も策定していくという形になりますので、皆さんと情報共有させていただきながら、県の方でも指標の設定などありますので、市町の皆さんにご協力いただいていたいただきたいことや、皆さんと一緒に同じ指標を見るということもすごく重要ななと思いますので、その辺りの指標の選定も県の方でしっかりできたらなと思っております。市の計画の方も参考に引き続きよろしく願いいたします。

(委員) 私の勤務している小学校では、一番最初の平成30年度からスタートしたグループに入っております。現在5年生までのこどもたちが、毎週金曜日の朝、音楽に合わせてフッ化物洗口を行っております。この音楽っていうのは非常に有効だと思います。この音楽がかかるとこどもたちの体が自然とフッ化物洗口に向きます。それで今年の一年生についてなんですけれども、11月に保護者に申し込みを

していただいて、12月に水道水でまず練習をして、1月にフッ化物洗口を始めたんですけど、初めてとは思えない。確認したら、全員が園のときもやっていた。非常にスムーズに洗口の方が始まっています。中学校の拡大ということで、学校でする、集団で行うという意味が、こどもの方で継続するということもできますし、健康格差というのもなくしていくという意味で、非常に有効な手段だと思っておりますので、本小学校でも引き続き来年からは全校生徒、中学校にも拡大されてということで、学校におけるフッ化物洗口によって、健康格差をなくしていく取り組みとして頑張っていきたいなと思っております。

**(委員)** 栄養士会の方の代表として、発言させていただきます。フッ化物洗口の効果非常に上がっていますし、それから細かく目標を考えていただいて、先進的に取り組みいただいている成果が上がってきている、パーセンテージでも見れるというところは素晴らしいなと思っております。今後に向けてなんですけれども、当然、フッ化物洗口を進めていくことが効果は高いと思いますし、それから丈夫な歯があって初めてしっかりした食事が取れ、そして必要な栄養が取れていくということで、お口と健康っていうもの、その関連は非常に高いと思っております。私も今年度松阪市の高齢者の一体化事業で、歯科衛生士さん、理学療法士さん、それから管理栄養士が、連携しまして、指導に当たりました。その効果が非常に見えて感じられたので、やはり今後も多職種が連携をしていくことが大切であるということを切実に感じています。今後に向けても、栄養士もまたここにも書かれているように、望ましい食習慣の定着っていうんですかねここで、何か寄与できることがあればというふうに思っています。この大きな目標の中では挙げにくいと思いますが、具体的にどういうものを食べるのが有効なのか、食べ方ですとか、食べた後の掃除であったりブクブクうがいであったりこれも大事ですけど、基本である骨、歯を作る材料をどう摂取していくのかというあたりも含めて伝えていくことも大事なのではないかなというふうに思っています。

先生方にお伺いしたいんですけど、歯を良くするためにカルシウムを取っていくことはもちろん、タンパク質も大事と言われていますが、今、リンとの摂取バランスのところ非常に食の方では問題になってまして。特にインスタント食品であるとか、それから炭酸系の飲料とかで、過剰にリンを取ってしまう。このためにせっかく摂取したカルシウムが十分に歯や骨に沈着しないのではないかと聞かれることを、懸念しているんですけど、そのあたりについてのデータですとか、科学的なエビデンスみたいなものをお持ちでしたら、ぜひまた教えていただいて、私たちも食生活を勧める中で、歯に良い食べ方、歯に良い組み合わせ方みたいなものも伝えていけたらなというふうに思っています。もうひとつ、幼児期のおやつとして乳酸菌飲料が非常に勧められているんですけど、甘い乳酸菌飲料の

場合、そのあとお口をゆすがないとむし歯になるケースが非常に高いのではないかという気がして、そのあたりも専門的な立場から、私たちにも先生方のお考えとか教えていただければというふうに思っている。今後とも国県、市町も含めてですね、この施策が浸透したり、連携を持って進んでいくことを願っていきたいと思っています。

(委員) 明確にリンの摂取のことについては、私知見がございません。ただ口の中の口腔衛生につきましても、規則正しい、或いは、先ほどの乳酸飲料糖分それからすっぱいものを多く含んだものを口にするような生活でなければ、自然と自分の自己防衛或いは成長力の中で、唾液がその部分を担ってくれるはずなんですけれども、ただお腹の健康ということと、お口の健康ということはそれぞれの利用者が区別をして、知識として持っていないと駄目なことだと思う。

(委員) 先ほどの乳酸飲料に関してなんですけども、やはり口の中に停滞する。強酸性ですね。乳酸と糖質がかなり高いので、歯の表面に関して言えば、脱灰はかなりします。乳酸飲料を飲むことは全然大体にはおそらくいいことなんだと思うんですけども、飲んだ後は必ずうがいしていただきたい。それをずっと常に常飲されていますとやはり、普通よりは歯の脱灰が進むと思います。かなり酸性度が高い、要するにスポーツエネルギーのようなものなんですね、結局口の中にとってみればね、脱灰がかなり進みますので、そのためにフッ化物洗口をして、歯の表面を耐酸性を上げるっていう話になってくるんですね、フッ化カルシウムというのは、表面に沈着しますのでそれが耐酸性を上げて、そしてその酸性に対して強い歯にしましょうねっていうようなことをやっていますので、ずっと常に毎日2、3本ずつ飲まれていてそのあとうがいがいも何もしないとやはり、かなり歯は弱るであろうなあというふうに予想はされます。

(会長) 乳酸菌とかはうがいでだけでもしていただけると随分違うと思います。ただリンを摂取して、それがカルシウムと結合して歯の表面のアパタイトがどうのこうのってことは、そこら辺の知見があればまたご説明させていただきます。勉強してみます。参考になりましてありがとうございます。

(委員) 本校の現状を、今日はお話させていただこうと思います。本校は、平成30年度からの一つ目のグループです。資料1の中でも、伝えていただきましたが本校未実施ということで、9月以降感染者数も実際校内の感染者数もかなり増えてきて、学級閉鎖も相次いでってということで、2年生から5年生また実施できておりません。また1年生についても秋頃からビデオを使っての指導を予定していましたが、まだその指導もできていない状況にあります。本日、インフルエンザの学級閉鎖っていうのも本校で起こってきましてまた実施時期について協議した上で、今後実施していくことになります。

(委員) うちの学校は全校生徒が65名という小さな学校でもありますので、フッ化物洗口の方は、6月7月に毎週できて、10月、11月も3回ずつできております。合計全部で今のところ12回実施できている状況なんですけれどもコロナウイルス、インフルエンザウイルスの流行に伴いまして、うちの学校も12月からほとんど実施できていないというような状況です。薬液づくりのことなんですけれども現在うちの学校でも薬液作りは輪番で教員の方でまわしているような状況なんです。すごく先生方が多忙でして、また人手不足も学校は深刻です。2人1組で、1組ずつペアになっているんですけれども、もう1人の先生が出張へ行かれたりとか、保護者の方の対応が放課後あったりとか、なかなかこの薬液づくり、うちは今まだ軌道に乗っているという状態ではありません。フッ化物洗口を安心安全に進めていくためには、薬液づくりをもし可能であれば、もっと安心な状態で学校へ届けていただくというのはできないものかなというふうに考えています。また他県の方では滋賀県だったと思うんですけれども、安全な状態で学校へ届くというのでも聞いたことがありますので、もう少し他県の状況とかも聞いていただいて、この薬液づくりの学校への負担というものをもう少し考えていただけたらありがたいなと思っております。以上です。

(会長) 他県の良いところは取り入れてね、松阪でできることは頑張りましょうね。

(委員) 公立幼稚園の園長会の方から出させてもらってます。前のことをもって思うと、はじめ、このフッ化物洗口に取りかかっていた時って、職員もどういうふうにするんやろとか、保管はどういうふうにしたらいいのかとか、保護者さんも、どんなんだったところでした。それが今や普通ってような保護者の雰囲気もありますしそこら辺はすごいありがたいなと思ってます。ただその、コロナの感染とかで今年度はほぼ、私どもは保育園も幼稚園も合築園舎で、来年度4月からは、こども園になりますのでもう一つ、合同でやっていくんですけど、今も幼保で一緒に進めてますけどほとんど今年度はもう取りかかりができませんでした状態ですので、本日やっとうちの幼稚園保育園来年度の5歳児に向けて、保護者さんに松阪市の医師会の先生方のDVDのホームページのご案内とかそれからわからないことがあったら、園医さんにいろんな質問をさせていただきますので、言ってくださいねとかそのようなことを加えながら、本日全保護者さんに配布をさせてもらったところです。それで、同意書、まず来年に向けて取っていきますので、ぜひ進めていきたいなと思っております。

(委員) 松阪認可外保育園連盟から代表でこさしていただいています。うちは保育園、ですけども、10年ぐらい前は哺乳瓶虫歯っていうんですか。乳酸菌飲料を哺乳瓶で飲ませることが多々見られました。でも今はほとんど哺乳瓶虫歯の子はおりません。保護者の方の意識も随分と上がったんやと思いますし、それからこちら

の働きかけもあったと思うんですけども、保護者の方の意識っていうのが、うちは保育園ですので、0歳から入ってくる子どもおれば3歳代で入ってくる子どもおります。0歳から入ってくる子たちには、こちらの働きかけも随分できるんですけども、3歳ぐらいから入って、虫歯のない子ども、ある子どもおります。むし歯のある子のお母さんたちっていうのは、1歳半健診で説明をしていただいていると思うんですけども、それをしっかり自分ごととして子どもたちにしていただける親御さんやと3歳になったときにも、まだまだ本当に綺麗な歯にしております。それを自分ごととしてとらえる、保護者の方の意識それをしっかりつけていただいたら、もっと3歳になったときに、違うんじゃないかなって思っています。それから、外国籍の方ですね。今、うちの保育園に来てる外国籍の方たちは、ほとんど虫歯です。入ってきた時にすでにもう虫歯になっていて、歯科健診の時に、むし歯だらけって言われるぐらい。お母さんたちも、あんまり気にはしてないみたいなんで、それをもうちょっと意識を持ってもらいたいなあと、こちらも思っています。4歳5歳のフッ化物の洗口の説明もいろいろさせていただくんですけども、別に、そんなに意識はないみたいです。フッ化物をさせてもらったところは、恐る恐る〇をされた親御さんもいましたけども今はもう、コロナの中でみんなを呼んで保護者の説明会をさせていただくわけにいかないんで、こちらの配布物とか、そういうふうなんで、説明を済ませてるんですけども、でもみんな、賛成はしてフッ化物洗口に。行っておりますけども、でも、今から思うと、昔のようにしっかり親御さんたちに説明した方が、いいのかなあと考えております。

**(会長)** 確かに両親の方にしっかりと知ってもらわないといけないんですけど、もう一つの集団上のメリットっていうのは、今おっしゃったように、親にそういう知識がない、全然意識がないっていう方でも一緒のように、予防ができるというメリットもありますので、特にそういうふうなことを気にされてたら、余計に一緒にやってあげるといいのかなというふうに思います。よろしくご協力お願いします。

**(委員)** 私の方から事務局というところで、お答えさせていただきますが、先ほど、この次期計画づくりに向けまして骨子案の方ご説明をさせていただきました。その中で、ライフステージ別の課題というところに取り組んでいきたいというところなんです。今日も担当課の方、子どもから高齢障がいまでできておりますので、しっかりと内部の体制を整えまして、引き続き委員の先生方からいただいた意見を、それぞれの部局が受けとめて、次期計画づくりの方に反映をさせていただきたいと思っています。教育委員会の方もしっかり連携をとっていきますのでよろしくをお願いします。

**(委員)** 松阪市PTA 連合会です。自分たちが通ってた幼稚園とか小学校のころに比べ

ると、こういったフッ化物洗口の取り組みされてるということで、その点に関してはすごく進んで積極的に取り組んでもらってることに関して、また意識の面という変わらずに、保幼小中で連携して、こどもたちの健康づくりこれが一生の松阪市の健康づくりに繋がっていく。成人から高齢期の取り組みに繋がってるということで、そこに関しては昔から取り組んでもらってることに本当に感謝申し上げます。私、娘に歯と口腔の健康づくりの会議出てくるんやわって話をしたら娘が、お母さん歯周病予防するための三つのポイント知ってるって話をしてくれまして、一つが正しい歯磨きと正しい生活習慣を守ることと、もう一つが健診行くことやってということで、これ全部、お母さん、大事なことだよって娘に言われました。娘は、それを幼稚園、小学校、中学校の関わってる集団生活学校生活の中で、養護の先生であったり、担任の先生であったり、友だちの会話の中から学んできたことで、こどもたちって、集団の中ですごく学ぶ機会があって、親自身が一緒になって関わらなきゃいけないことを、ハッと娘から気付かされることあって、特にその健診とかは、幼稚園の私るときだったら、お母さんが連れて行かな私1人できへんでしょって言われて、なるほどなって思ったし、仕上げ磨きもう何歳までちゃんとしてくれとったみたいな話になったときに、私たち親ってついつい大きくなっていくと、ちっちゃい頃は、こどもの健康状態とかに気をつけたりするんですけど、学齢が上がっていくと、テストの点数どうやったとか、次テストいつあるのとか、友だちとうまくいってるのとか、健康のことは当たり前前の頭にはあるんですけど、ついつい会話の中で目先のことに意識がいつてもいがちで、でも実は口の中って担任の先生が30人全部開けてみることはできないけど、親はこどもがいたら口を開けて多分見ることができるって一番家庭が気づかなければいけない大事なことなのかなというふうに、娘と会話しながら気づくことがあったので、先ほどお話を伺って、やっぱり自分も含めて私は虫歯がありますでも、娘と息子はまだ虫歯を経験してなくて。でも私特別のことは何もしてない。ただ、言われてみれば三つのことはしている。健診にも連れていってるとし、歯みがきの指導は、私が正しくできなくても、歯医者さんの方で、歯科衛生士さんとか正しいブラッシング指導を教えてもらったりであるとか、生活習慣って大事だよってというのは幼稚園のころとかからブクブクうがいするよとか、おやつ食べても、ブクブクぐらいだけはしたほうがいいよとかいうのを、娘から息子から言うことがあって、家庭がそのこどもたちがこのメッセージに気づいて、せっかくそうやって、園や学校や中学校行ってから、こどもたちが健康づくりに意識があったとしても集団がそんだけ伸びてきても、家庭でその輪が途絶えてしまうと、明日に繋がらないかなというふうに思ったので、これは私たち自身が一番知っていることが大事だし、そういった意味では、今松阪市は小中に関して

は、i P a dを、1人1台ずつタブレットを配布してもらっていますので、そこで、子どもたちだけではなくて、保護者と一緒になって、何か見えるような啓発動画というものを、もしもアイコンを一つ作ってもらったら、それを見て、そこからちょっとアンケートを設置するとか、仕掛けにはないんですけど、もちろん積極的に関わりたいけど、保護者は今、聞かしてもらってその歯周病が糖尿病とかっていうのって、私も恥ずかしながら知らないことたくさんあったので、そこは真摯に反省したんですけど、そういったことも、大人が関われるきっかけっていうのは、何かの形で作っていただくと、自分たちも知っていく、知っていくための努力的な部分が、そうやってしていけると松阪市にも、良い未来に繋がっていくのかなというふうに思いました。未来の担い手の子どもたちを育てていくことが、松阪市のその子どもたちが将来に繋がるっていうことは、みんな子どもは大人になるので、こうやって繋がっていくので、それをこの会議に出るたびにいつも一番最初っていうのは肝心なんだなっていうふうに感じさせてもらうので、今日教えてもらったことも自分の保護者の立場で、発信していきたいと思っていますので、あとこういった機会を通じて大切なことたくさん引き続き教えてもらえたらと思っています。よろしくお願いします。

(会長) 確かに今i P a d等、全家庭に配付していますので、そこら辺を利用しながら、子どもたち、親御さんにもアドバイスできるような、ツールができれば、よろしくお願いします。

(委員) 歯科衛生士会です。今年度の新規小学校、幼稚園保育園さんのフッ化物洗口の日程というのが、先生方であったり行政の方々のおかげで、本当にスムーズに日程を決めさせていただくことができたと思っております。また来年度から継続小学校への指導も少しずつ行っていくという、いうふうに聞いております。引き続き、衛生士会の方でもフッ化物洗口の意味と、むし歯、また歯肉炎、歯みがき、間食の取り方、先ほども出ましたが乳酸菌の摂取の仕方等も、しっかりとお伝えしていきたいと思っております。

(委員) 松阪地区薬剤師会です。健康づくり基本計画とかに薬剤師会として協力できることとして、啓発活動が一番かなと思いました。昨年アンケートでも、大人とか中学生で、フッ化洗口とか知らない方50%ぐらいいますので、まだまだもっと件数をふやせる、健診とかでもですね、まずは知ってもらうことから始めていくと。知ってもらってから実行に移していただくのがよいかと。掲示物、各会員の薬局とかにも協力していただき行っていきたいと思えます。

(委員) 音楽がかかってくると、フッ化物のブクブクをこどもらが進んでやっている、ルーチン化されているということを、今日は聞いてよかったなあとと思っている次第なんです。やっぱり、もうルーチンになっているんです、実は。フッ化物

洗口を進め始めてもう10年ぐらい以上になってきておりますけども、他県ではそういうふうにルーチン化されているんですよ。だから三重県が実は遅かったっていうだけのことなので、どんどん近づいていくと、だからもうあと10年20年したときに、おそらく口の中の状態、歯の状態が、おそらく全国レベルになっていくんだろうなというふうに考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。そして、いろいろ啓発活動です松阪市の方にもどうぞよろしくお願ひいたします。

(委員) 今回松阪市さんの方から、この事業の一旦節目ということになるので今までのデータを出していただきました。この資料6の指標一覧の中でも、達成状況二重丸になってるところもありますが、バツで、十分成果が上がってないところもありますのでこういうところは、歯科医師会の方でも十分精査して今後の対策を考えていきたいと思ひますので、どうかよろしくお願ひいたします。

(委員) 松阪市には歯と口腔の健康推進条例というのがございまして、それにのっかってこの協議会が開かれておるわけです。その中で先ほど来、第2次松阪市歯口腔の健康づくり基本計画策定に関する基礎資料というものもいただきまして、こどもの時から幼少期から高齢期に至るまで、綿々とその現行の積み重ねというのが、繋がっていますよということです。先ほど幼稚園保育園の先生の方からお話いただきまして、園の方では懸案であった哺乳瓶むし歯ということについての先生方の努力もあったんだと思ひます、随分啓発されて、少なくなってきました。そして、その推進条例、松阪市の健康福祉部と、それから松阪市教育委員会、協力のもとそれを市として進めましょうという中で、いろいろな意見あるんだったら、ここで協議するから言っただけという形で、私たちフォローしていただいているんだと思ひます。それで来年には、計画案の令和5年までやってきました中学校にまでということになりました。そうすると今度はもう、先ほど出てきました、妊婦歯科健診とか成人とか、そういったことでそこら辺の人数の方は、保育園の方にもお世話になるわけです。そういった循環の中で子どもたちが育っていくんだと、その育ちというものを市を中心として関係者がもっとフォローしていきましようということで、今年も1年皆様方と顔を合わせお話できたことが本当にありがたいことだと思ひていますし、松阪市も県下いろんな町に比べてすごく心を持って進めていただいているんだなというふうに私本当に実感してうれしく思っておる次第でございまして。ぎくしゃくとした部分もあったようには思ひますけれども、今こうなればいろんな職種の方が一堂に集まって、こどもの成長というものを見ていきたいと思いますという、いろいろコロナだけについてもややこしい時代になってきたのでそこを何とか回復していきましよう、その中では職域のことばかりは言っただけじゃないなというふうに、皆合意形成したんだと思ひま

す。どうもありがとうございました。

**(会長)** 委員の方から、おっしゃられた歯周病と全身疾患の関係についてもやっぱりあまり知られてない。こういうことも僕らはやっぱ啓蒙していかないといけないと思いますので、協議会の中で、少しずつでも、発表させていただければなというふうに思っております。それともう1点、残念に思ってるのは障がい者の方のケアが、まだまだ歯科医師の立場として弱いんです。何とか頑張ってネットワークをしっかりと作っていきたいなと思いますので、叱咤激励してください。頑張ります。それじゃあ時間になりますので事務局の方にお返しします。よろしく願います。

**(事務局)** 会長、皆様、ありがとうございました。本日、皆様にいただきましたご意見をもとに、事務局といたしまして第2次基本計画の素案作成を進めますとともに、今後も関係機関団体と相互に連携しながら、歯と口腔の健康づくりを推進して参りたいと存じます。また、委員皆様におかれましては、これまで2年間にわたりまして、歯と口腔の健康づくり推進協議会委員としてご協力を賜り、誠にありがとうございました。今後とも、歯と口腔の健康づくりに関しまして、ご指導、ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願いいたします。それではこれもちまして、令和4年度第2回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

<15:00 終了>